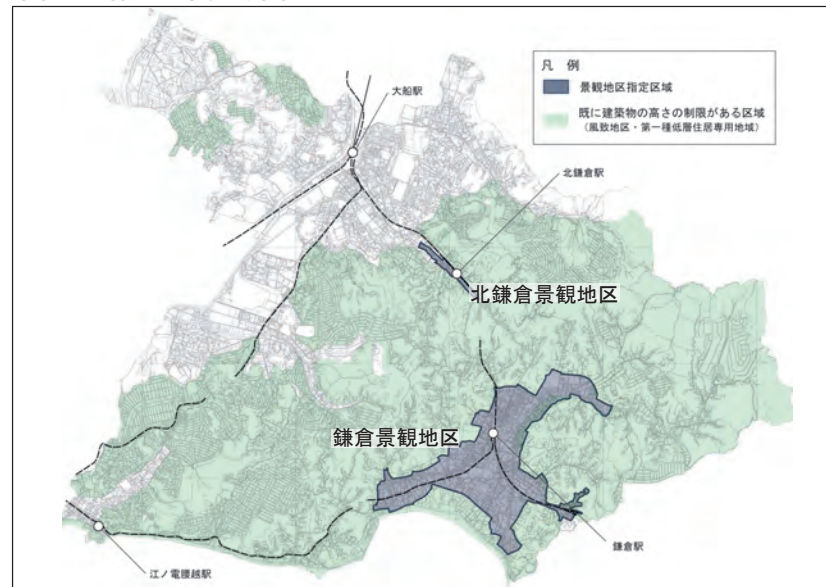


景観地区の概要

指定対象区域

- 鎌倉景観地区
鎌倉駅・若宮大路を中心とする市街地
約224.8ヘクタール
 - 北鎌倉景観地区
北鎌倉駅周辺の市街地
約7.2ヘクタール
- 景観地区の指定対象区域は図1のとおりです。
- 景観地区では、地区特性に合わせ対象区域内を7区分し、建築物の形態意匠（デザイン・色彩等）の制限、建築物の高さの最高限度を定めます。（図2参照）

図1 指定対象区域図



制限内容（地区区分ごとの制限は3ページから6ページをご覧ください。）

■建築物の形態意匠の制限

建築物の形態意匠の制限内容は全般基準と色彩基準を定めています。

全般基準は地区内共通の建築物に関わる制限（共通事項）と7つの地区区分ごとの建築物に関わる制限（地区別事項）で構成しています。色彩基準は外壁基調色と屋根の基調色について地区区分ごとに制限を定めています。

景観地区では右図に示すとおり共通事項と地区別事項及び外壁基調色及び屋根の基調色の制限に適合することが必要です。

建築物の形態意匠の制限

全般基準	■共通事項	鎌倉景観地区と北鎌倉景観地区それぞれに地区全体の共通事項を定めています
	■地区別事項	地区の特性に応じた7つの地区区分毎に建築物等に関わる制限を定めています
色彩基準	■外壁基調色	外壁と屋根の色彩について使用される最も面積の大きい色彩についての制限を定めています
	■屋根の基調色	

4つの制限事項への適合が必要

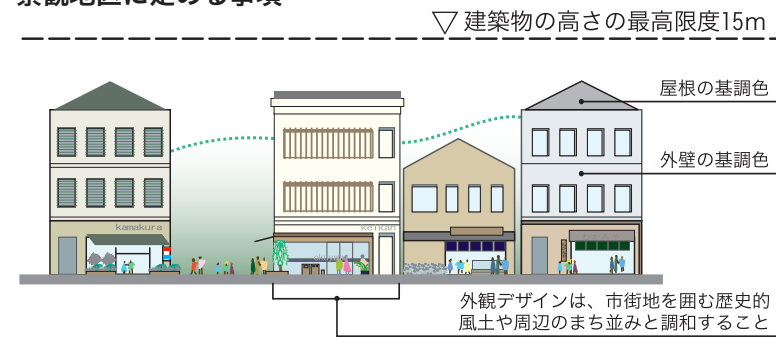
■建築物の高さの最高限度

鎌倉景観地区、北鎌倉景観地区ともに、**建築物の高さの最高限度は15m**

ただし第一種低層住居専用地域に指定されている区域は10m

※風致地区など既に高さ制限が定められていた場所はこれまでどおり変更はありません。

景観地区に定める事項



景観地区：景観法に基づく制度で市町村が市街地の良好な景観の形成を図るため都市計画に定める地区。

景観地区の都市計画には、建築物の形態意匠の制限を必ず定め、建築物の高さの最高限度又は最低限度、壁面の位置の制限、建築物の敷地面積の最低限度のうち必要なものを定めることができます。

建築物の形態意匠の制限は市長への認定申請で、その他の内容については確認申請で制限への適合をチェックします。**建築確認と市長の認定を受けた後でなければ工事に着手することはできません。**

地区区分

若宮大路周辺商業地

鎌倉駅東口・西口
若宮大路、小町通り
御成通り など



観光型住商複合地

主要地方道横浜鎌倉
沿道（北鎌倉駅南側）
長谷寺周辺 など



住商複合地

県道鎌倉葉山沿道
主要地方道藤沢鎌倉沿道（北鎌倉駅北側）
若宮大路、材木座 など



沿道住宅地

県道鎌倉葉山沿道
（大町一～五丁目）
扇ガ谷一丁目など



旧市街地の住宅地

雪ノ下、小町、大町、
材木座、由比ガ浜、
長谷などの住宅地



谷戸の住宅地

大町三～五丁目の
住宅地



海浜住商複合地

若宮大路
（由比ガ浜二丁目）
国道134号沿道
（長谷二丁目）



図2 地区区分図

